

○事業所名	湘南北部療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用する子どもたちが安心して通える	子どもたちがやりたいと思える内容や楽しいと思える活動をご家族からのお話を参考に検討しております。また、当日のお子さんの体調や気分で参加が難しいときや不安な時には無理に参加を促さず、興味を示したときにそっと誘ってみたり、気持ちが落ち着いてから声をかけるなど、お子さんの状況に応じて関り方を変えています。	自分の気持ちを他の人に伝えることが難しいことを常に意識し、その時にお子さんが行っていたことの背景に注目して、ご家族からもご意見をいただきながら、お子さんたちが安心して通えるように、配慮など行なって参ります。
2	・子どもたちあつた支援をご家族と一緒に考えていく	お子さんの発達状況や興味関心、得意なことなどをアセスメントし、ご家族からもご家庭での様子や工夫されていることなどをうかがい、お子さん一人ひとりに合わせた支援について、日々検討しております。	より良い支援のアイデアができるように、職員が研修へ参加し、子どもたちに関わる職員の支援力を高めていけうように精進して参ります。
3	・ご家族の方がお話しできる機会を作る	親子での通所を基本とし、ご家族の方にも療育へ参加していただくことで、お子さんの様子と一緒に見て、お子さんの状況などを共有する機会となっています。	ご家族の方の要望に応じて、個別に時間を作って相談できる機会をより増やしていくことで、普段の利用の際には話しきれないことなどをお話しいただける機会を設けていければと思います。また、ご家族の方と一緒に研修や勉強会の機会を設けて、支援において共有できることを増やしていければと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造等 ・階段が急である ・古さが気になる	子どもの利用を想定した作りとなっていない建物のため、階段の1段当たりの高さや段数などが子どもたちにとって負担になっていると思われます。	階段につきましては、子どもの手の届く高さで別で手すりの設置をしております。また、昇降時には職員も一緒に同伴して安全に配慮しております。
2	交流機会の少なさ ・個別利用のため、他児との関りが少ない ・個別利用のため、他の保護者との交流機会がない	個別療育をご利用の場合は、職員との1対1が基本となるため、他児との交流を設定しなければ、機会がないかと思えます。また、保護者間の交流につきましては、ご家族向けの研修会などの機会が実現できていないこともあり、個別療育をご利用の方は他の保護者と交流する機会がないかと思えます。	利用されているお子さんの状況に応じて、グループへの参加もご家族の方と検討してまいります。また、グループ療育の体験等も検討していきたいと思えます。保護者の交流機会につきましては、対面での研修機会など検討して参ります。
3	情報発信の弱さ ・HPやSNSが活用されていない	月に1度の頻度でお便りや予定表を発行していますが、紙での配布となっているため、HPの定期的な更新やSNSでの情報発信ができていない。	HPやSNSを活用した情報発信については、情報倫理などの観点も考慮し、適切かつ正確な情報発信が行えるように検討していきたいと思えます。